

尾瀬山行報告

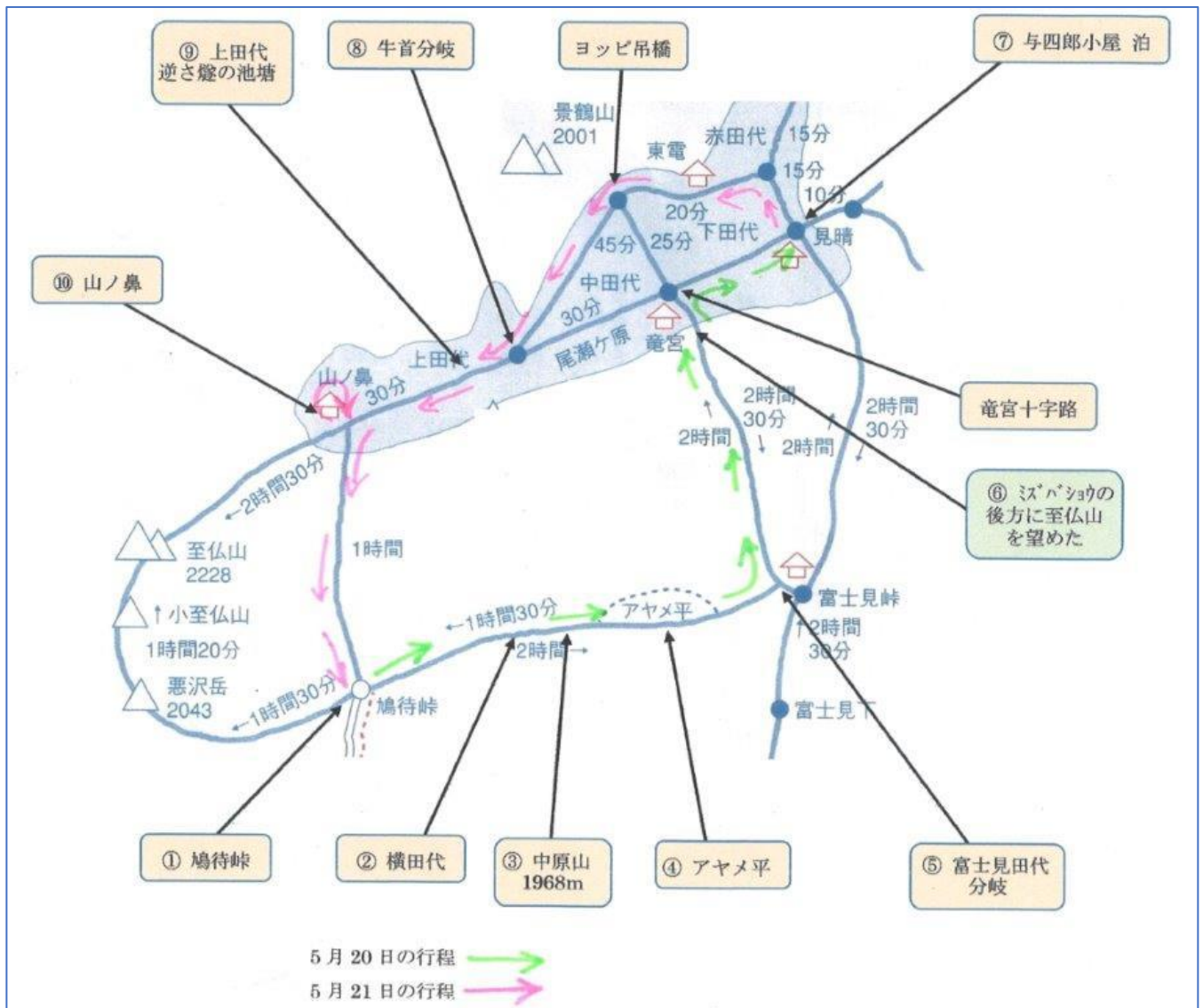
●日 程：平成30年（2018年）5月20日～21日

●参加者：岡村 真由美・岡村 繁雄

●行 程：20日 鳩待峠→中原山→アヤマ平→富士見田代→竜宮十字路→与四郎小屋泊
21日 与四郎小屋→東電分岐→ヨッピー橋→牛首分岐→山ノ鼻→鳩待峠

東京に要件がありそのついでに、尾瀬まで足を延ばした。早朝、東京駅を出発新幹線とバスを乗り継ぎ約4時間で尾瀬の登山口である、鳩待峠に到着。

この日までの天気予報も二転三転し、ほぼあきらめていた天候もよくなり、ミズバショウの花を一つでも見る事ができればよいかなと思い鳩待峠から富士見峠経由で事前予約している与四郎小屋を目指した。





鳩待峠道標



① 5月20日 鳩待峠 出発



中の木道付近の積雪



横田代の入り口付近

ところどころ木道が雪に埋もれていたが、トレースがあり何度か足を取られたが、日が差すところは、雪も解けて快適な木道歩きが続いた。



②横田代、後方至仏岳



前方 我々だけで貸し切りの横田代木道



③今回の最高峰 中原山〔1968m〕

途中登山者と数パーティーすれちがっただけで、天候に恵まれ、貸し切りの絶景を満喫することができた



アヤメ平入り口付近



④アヤメ平、前方燧ヶ岳



アヤメ平より至仏岳を望む



⑤富士見田代 分岐の氷が張った池と燧ヶ岳



アヤメ平から 0.8K	
尾瀬ヶ原	4.0K
富士見峠	0.2K
と記載の道標	



残雪の残るトレースを追って下山



木道で整備された下山道



青空に映える木々



⑥富士見田代から下山し、尾瀬ヶ原の竜宮十字路手前（中央 至仏岳）

一輪でも咲いていればよいかなと思っていたら、こんなに咲くものなのかと思うほどあちこちで、花盛りであった。

今年の尾瀬は、雪解けが例年になく早く、ミズバショウの見ごろは今週末までとのことであった。我々もツアーを探したが、ほとんどが来週からで、そのころには花のピークを過ぎてしまっていることになるが、尾瀬ヶ原では、結構次から次と何らかの花が咲くとのことであった。







⑦ 与四郎小屋と燧ヶ岳



ビールで乾杯



朝食

20日は、与四郎小屋に宿泊。風呂では石鹸は使えないが汗を流せるだけでも快適で、夕食時はもちろん生ビールで乾杯。客も十数名で少なくゆっくりとくつろぐことができた。



水路沿いに咲くミズバショウと至仏岳



⑧牛首分岐



⑨上田代 逆さ燧の池塘



前方 燧ヶ岳 登山者が少なく快適である



上田代から山ノ鼻へ至る途中 至仏岳



㊤山ノ鼻付近のミズバショウ



山の鼻小屋



21 日 小屋を 6 時 50 分出発し峠へ 10 時 30 分到着、3 時間 40 分の行程であった。
 東京までバスと列車で約 4 時間を要する。
 ミズバショウもあちこちで咲き乱れ、登山者も少なく予想以上の快適な山行であった。



掲示板より